
平成22年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成22年3月5日

質問者（質問順）

- 1 牧嶋秀昭 委員（公明党）
- 2 工藤裕一郎 委員（民ヨコ）
- 3 宇都宮充子 委員（無所々）
- 4 関美恵子 委員（共産党）
- 5 斉藤達也 委員（自民党）
- 6 山下正人 委員（自民党）
- 7 小粥康弘 委員（民主党）

教育委員会事務局

局 別 審 査

1 牧 嶋 秀 昭 委 員 (公 明 党)

1 教育予算について

- (1) 平成22年度横浜市立高等学校の授業料として、国から受ける金額と、一人当たりの金額はそれぞれいくらか。
- (2) 無償化ができなくなった場合、どのような対策をとるのか。
- (要望) 国の私学助成で授業料免除の予算が減額されたため、生徒の負担が生じた場合には、私立の高校にも手を差しのべ、国へ要望等もしてほしい。

2 歴史教科書の横浜版学習指導要領を使用した指導法について

- (1) 中学校歴史教科書に「自由社」を含めて選択した理由はどのようなものか。
- (2) 自由社の歴史教科書について、横浜版学習指導要領においてどのような解釈を入れようとしているのか。
- (3) 帝国書院、東京書籍、自由社の歴史教科書の「日本国憲法制定」箇所の記述にどのような違いがあるのか。
- (4) 3社の教科書の記述の違いにより、実際の授業はどのように違うのか。

3 鶴見区の市立高校について

- (1) 鶴見工業高校が横浜の高校教育の中で担ってきた役割についてどのように認識しているのか。
- (2) 2年目を迎えた横浜サイエンスフロンティア高校の特色ある教育内容について伺いたい。
- (要望) 鶴見工業高校の近隣に、学校があったという記念碑を残すことを検討してほしい。

4 校舎の耐震工事について

- (1) 現在までの耐震工事終了率及び平成22年度の耐震補強の取組についてどのようなになっているのか伺いたい。
 - (2) 耐震対策の状況報告を棟単位で発表する理由は何か。
 - (3) 教育委員会所管の小中学校の総床面積と、耐震補強が終了している総床面積のパーセンテージを出してほしい。
 - (4) 耐震補強工事完了率を棟単位と床面積単位とで今後発表する考えはないか。
 - (5) 横浜市耐震改修促進計画の対象となっている50㎡以上の建物を前提として、学校全体の耐震化がいつ終了するのか。
 - (6) これまで行ってきた耐震対策について、データチェックを再度行い、市民が安心して子どもを通わせられるようなデータを出すことはできないか。
- (要望) 耐震データの精査の結果で問題が残っているものについては、明らかにしてほしい。

5 特別支援教育推進、発達障害について

- (1) 平成19年から21年における、特別支援の面で支援が必要な子どもの数の推移と支援の内容、特別支援教室の数について伺いたい。
- (2) 支援が必要なのに関わらず、受けられない子どもがいる理由は何か。
- (3) 特別支援教育実践推進校事業の、取組成果と課題について伺いたい。
- (4) 特別支援教育実践推進校事業について今後どのように取り組んでいくのか、またその方法について伺いたい。
- (5) 「将来にわたる安心プラン」に教育委員会が関わっている部分はどこか。
- (6) 教育委員会における障害者雇用率はどのくらいか。それは満足すべき数字か。
- (7) 外郭団体を含め、横浜市として障害者雇用についてどのような状況か、今後どのようにしていくのか。

6 新型インフルエンザ対策について

- (1) 市立学校における新型インフルエンザによる学級閉鎖の状況はどうであったか。

(2) 夏休み明けから12月末までで、どれくらいの学級閉鎖があったのか。

(3) 今回の対応を教訓にして、強毒性のインフルエンザに対してどのような取組を考えているか。

7 教育委員会事務局の方面別展開について

(1) 4方面のそれぞれの地区の特色や雰囲気について伺いたい。

(要望) 教員の人事異動などが、方面ごとに差が出ないようにお願いしたい。

1 北海道教職員組合の政治資金規正法違反に関する新聞報道について

- (1) 横浜市立学校教員において、北海道教職員組合のような政治資金規正法違反行為の有無について確認したい。

2 道徳について

- (1) 「成人の日」を祝うつどいの式典としての雰囲気についての所感を伺いたい。
- (2) 「成人の日」を祝うつどいの一部参加者の行動の背景について、どう考えるのか。
- (3) 「知」「徳」「体」「公」「開」の「徳」についての現状認識を確認したい。
- (4) 礼儀作法読本の内容と活用について具体的に伺いたい。
- (5) 豊かな情操を育むモデル事業のねらいと内容について伺いたい。
- (6) 戦没者追悼式に児童生徒が参加できるようにならないか、伺いたい。
- (7) 学校において日常的な国旗掲揚をしないのか、伺いたい。

3 地域と連携した防災活動について

- (1) 中学生も地域の防災活動に参加する必要があると思うが、考えを伺いたい。
- (2) 地域と連携した防災訓練に、児童生徒がどのような参加をしているのか。
- (3) 今後、学校と地域の防災面での連携強化をどのように進めていくのか。
(要望) 地域としっかり連携を取っていただきたい。

4 学校に対する地域の協力について

- (1) 教育委員会事務局の事業で、地域の方々に協力してもらう主な事業は何か。
- (2) 活動の担い手のすそ野を広げるための取組があれば伺いたい。

5 市立高校夜間定時制の給食について

- (1) 夜間定時制における給食の実施状況について伺いたい。

(2) 弁当を食べず、結果として食事を3度摂らないようなことが起こると、食育という分野からも問題があると思う。それについての取組、考えがあれば伺いたい。

3 宇都宮 充 子 委員（無所ク）

- 1 方面別学校教育事務所構想と教科書一採択地区化の考え方について
 - (1) 方面別事務所の設置趣旨とブロック化のねらいについて伺いたい。
 - (2) 方面別事務所の機能はどこまで分権化していくのか。
 - (3) 教科書を一採択地区化した理由は何か。
 - (4) 教科書の一採択地区化は、分権化構想に矛盾していると思うが、見解を伺いたい。

- 2 特別支援教育について
 - (1) 学校生活支援事業の利用実績が減少している理由について、どのように考えているのか。
 - (2) 「特別支援教育を推進するための基本指針」の本人支援の考え方に基づく、事業見直しの実施時期とその内容について伺いたい。
 - (3) 健康福祉局のガイドボランティア事業との連携が必要と思うが、どのように考えているのか。

- 3 きめ細かな教育の推進について
 - (1) 不登校小学生の現状とその傾向について伺いたい。
 - (2) 不登校の予防策についてどのように行っているのか伺いたい。
 - (3) 児童支援専任教諭の配置のねらいと人材選定の考え方について伺いたい。
 - (4) スクールサポート事業のねらいは何か。
 - (5) 通級指導教室から送られてくる指導の記録は、担任も理解しているのか。情報カルテはあるのか。
 - (6) スクールサポート事業で派遣する非常勤講師について、特に配慮が必要な子どもたちに関する研修が実施されていないようであるが、今後の対応について伺いたい。
 - (7) 複雑な学校体制をコーディネートする校長のマネジメント能力向上について見解を伺いたい。

4 読書活動の推進について

- (1) 平成18年度からの読書活動推進計画の評価はどうだったのか。
- (2) 横浜市の子どもたちの読書活動の現状と問題点について伺いたい。
- (3) 学校図書館の位置づけはどのようになっているか。
- (4) 各学校図書館の活用状況、蔵書状況やボランティア活動状況などの把握は出来ているのか。
- (5) 学校図書館に専任の司書教諭を配置すべきと思うが、見解を伺いたい。
- (6) 図書館の機能として学校図書館のイメージ、あるべき姿をどのように考えているのか。

1 高校入試について

- (1) 市立中学校の全日制高校への進学希望者率と実際の進学者率の過去3年間の推移について伺いたい。
- (2) 進学希望者率と進学者率に開きがあり、また、進学者率が低下傾向にあることについて、状況をどのように見ているか。
- (3) 私学への希望者率が低下していると聞いているが、公立全日制の募集枠は、私学と協議して決めている。これでは、公立・私立の募集割合を決める根拠が崩れていると思うが、見解を伺いたい。
- (4) 今年実施した入学者選抜において、東高校の募集定員を増やした理由は何か。
- (5) 全日制で多数の不合格者が出ているが、全日制の合格者枠を拡大するなどの措置が必要だったのではとの考えに対する見解を伺いたい。
- (6) 希望していなかった定時制や通信制に進学する生徒が多いとの考えに対する見解を伺いたい。
- (7) 平成20年度の調査で1,056人の生徒が定時制へ進学している現実を検証し、分校や分教室の設置、定時制の復活などの見直しを行うべきと思うが見解を伺いたい。
- (8) 川崎市が定時制の学区を市内学区に変更した場合、何らかの対策が求められると思うが見解を伺いたい。
- (9) 横浜サイエンスフロンティア高校と南高校の今年実施した入学者選抜の状況は、前年と比べてどうだったのか伺いたい。

5 齊 藤 達 也 委員（自民党）

1 北海道教職員組合の政治資金規正法違反について

- (1) 北海道教職員組合の政治資金規正法違反に対する見解を伺いたい。
- (2) 今回の事件で、資金の一部に長年蓄積された巨額の主任手当が充てられていた疑いがあると言われているが、本市としても徹底的な調査を行うべきと思うが、見解を伺いたい。

2 開港記念日の活用について

- (1) 開港記念日についてどのように捉えているのか。
- (2) 「開港記念日」を迎えるに当たって、教育委員会として各校にどのような指導を行うのか。
- (3) 休業日となる「開港記念日」の児童、生徒の過ごし方について、教育委員会として担うべき役割について伺いたい。
- (4) 開港記念日がより意義深いものとなるような取組を推進するために、全庁的なプロジェクトを立ち上げるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 過去に、開港記念日に市役所や市民の方々が市の花の飾りを胸につける習慣があったと聞いているが、そのことを知っているか。

3 子どもの体力向上について

- (1) 本市における子どもの体力の現状について伺いたい。
- (2) 子どもの体力向上に向けた課題について伺いたい。
- (3) 子どもの体力向上に向けた今後の取組について伺いたい。

4 少年自然の家「赤城林間学園」「南伊豆臨海学園」について

- (1) 少年自然の家の利用状況について伺いたい。
- (2) 少年自然の家の維持管理にかかる経費について伺いたい。
- (3) 少年自然の家の運営上の課題について伺いたい。
- (4) 少年自然の家の今後の方向性について伺いたい。

(要望) 施設の位置づけやあり方を市民にとってより良い方向に導くように要望する。

5 横浜型小中一貫教育について

- (1) 平成22年度の「横浜型小中一貫教育」の取組について伺いたい。
- (2) 「横浜型小中一貫教育」の推進に向けた教育委員会からの学校支援は何か。
- (3) 多様なブロックが混在する本市の「横浜型小中一貫教育」の今後の方向性を伺いたい。

6 教員のメンタルヘルスについて

- (1) 本市教員に対する現行の心の健康相談体制はどうなっているのか。
 - (2) 増員されたケースワーカーを活用してどのように積極的な取組を進めているのか。
 - (3) 出張カウンセリングの具体的なねらいについて伺いたい。
- (要望) 教育の現場では、教職員同士が様々な場面でコミュニケーションを図り、私生活を含めた問題点を早期に把握し、心の隙間が不祥事に繋がらないように努めることが大切と考える。そしてそれが児童・生徒の健全な育成に繋がるような取組を進めていただきたい。

7 地域防災拠点としての学校について

- (1) 「地域防災拠点としての学校」をどのように位置づけているのか。
 - (2) 学校は、地域防災拠点の訓練にどのように関わっているのか。
 - (3) 学校は、教育活動を通して保護者や地域住民の防災意識を高められるような取組を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 学校教育ではどのような安全教育を行っているのか。
- (要望) 教育機関としての目的は踏まえつつも、防災のような共通の課題を地域と学校が共有し、共に考え行動するという取組を通じて、真に「開かれた学校」を具現化して頂くよう要望する。

8 過大規模校、大規模校への対応について

- (1) 過大規模校の現状について伺いたい。
- (2) 過大規模校について具体的な対策を伺いたい。
- (3) 大規模校の現状について伺いたい。
- (4) 大規模校での児童・生徒の急増対策について伺いたい。

(要望) 過大規模校、大規模校がある一方、統廃合される学校もある。住民・保護者の不安を解消するよう、適切に対応していただきたい。例えば、緑区では、三保小学校が大規模校の一つとなっている。隣接する学区の新治小学校は、今後、小規模化が見込まれており、併設されている新治特別支援学校の移転も予定されている。新治小学校など隣接校との学区調整なども含めて今後の対策をお願いしたい。

9 あかね台中学校プールの整備について

- (1) 拠点校方式を採用するに至った経緯及び期待される効果について伺いたい。
- (2) 具体的なスケジュールについて伺いたい。
- (3) プールをどの位置に整備するのか。
- (4) 地域利用も出来るようにすべきと思うが、どのように考えているのか。

(要望) 暫定利用地へのプール設置を検討してほしい。残った土地については地域住民の利用に供するような使用を検討するよう要望する。

1 成人式について

- (1) 「成人の日を祝うつどい」に参加した率直な感想を伺いたい。
 - (2) 成人式の開催の意義について伺いたい。
 - (3) 成人式が形骸化し、意義が失われているという声の一部にあるが、どのように考えているのか。
 - (4) 検討委員会の提言を踏まえて具体的にどのような工夫をしてきたのか。
 - (5) 成人式の新たな課題をどのように認識しているか。
 - (6) 今後の成人式の方向性について伺いたい。
- (要望) 成人式は、社会人として、大人がきちんとしたメッセージを伝える場だと思う。現状では理解を得られる内容になっていないと思うので、本来の意義を認識出来るような開催の仕方について、検討することを強く要望する。

2 道徳教育について

- (1) 子どもたちに集団生活のモラルを身に付けさせるために、学校はどのような取組をしているのか。
 - (2) 「道徳の時間」における教材についてどのように考えているのか。
 - (3) 「海の武士道」を知っているか。
 - (4) 「横浜の子どものための礼儀作法読本」の内容について伺いたい。
 - (5) 「心のノート」も含め、道徳教材の活用促進について伺いたい。
- (要望) 教材を活用し、現場で子どもたちにしっかり指導できるように要望する。

3 社会人経験者採用について

- (1) 社会人採用を開始した目的と採用の実績を伺いたい。
 - (2) 採用された職員の評価及び学校での実績はどのようになっているのか。
 - (3) 社会人経験を含め、多様な経験を持つ人材を積極的に採用すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 学校に新風を入れるような人材採用の努力を今後も続けていただきたい。

4 発達障害のある子どもの才能を伸ばす指導について

- (1) 通級指導教室を利用している子どもたちの利用状況はどのようになっているか。
 - (2) 通級指導教室ではどのような指導が行われているのか。
 - (3) 通級教室の指導において、本人の得意とする分野、可能性や才能を引き伸ばすような指導を行えるのかどうか伺いたい。
- (要望) 横浜市全体として、発達障害のある子どもたちの才能を高める指導について検討してほしい。

5 就学奨励費について

- (1) 22年度予算において、就学奨励費の増額が図られた理由は何か。
 - (2) 国の制度変更によって、財政負担は大きなものがある。本市の現状を国に対して伝えていくべきと思うが見解を伺いたい。
- (要望) 地方の声を大都市横浜が発信していくことが大事だと思う。国と市と県が連携して地域社会をよりよくすることが政治の仕事だと思うので、行政からも強く意見・要望をしてほしい。

6 横浜の教育の取組について

- (1) 横浜の教育で最近他都市から注目を浴びている取組にはどのようなものがあるか。
- (2) 先進的な取組に対してどのような評価をしているのか。
- (3) 横浜の教育の推進に向けて、所感を伺いたい。

7 北海道教職員組合の政治資金規正法違反について

- (1) 仮に、横浜で同様の問題が起こった場合、教育委員会はどのような対応をするのか。
- (要望) 横浜の子どもたちを守るようしっかりと教育行政に取り組んでほしい。

1 児童支援専任教諭について

- (1) 児童支援専任教諭を全ての小学校に配置することとなった背景について伺いたい。
- (2) 児童支援専任教諭の役割は何か。
- (3) モデル校での具体的な支援の事例について伺いたい。
- (4) 児童支援専任教諭の担当授業時間数を週 1 2 時間以内とした理由について伺いたい。
- (5) 5 か年で全校配置する理由を伺いたい。
- (6) 初年度に配置する 7 0 校の選定方法について伺いたい。
- (7) 方面別学校教育事務所は、児童支援専任教諭配置事業にどのように関わっていくのか。
- (要望) 児童支援専任教諭は、早めに全校に配置してほしい。
- (要望) 児童支援専任教諭の役割は重要であるから、知識・能力等を高めるための養成をしっかりと行っていただきたい。

2 教員の世代交代に伴う問題点について

- (1) 本市教員の年齢分布についてどのようになっているのか。
- (2) ベテラン教員が少なくなり、若手教員が増えていくことに対する課題・問題点について伺う。
- (3) 若手教員の育成方法はどのように行っているのか。
- (4) ベテラン教員から若手教員への技やノウハウの伝承について、校内 O J T の進め方について伺いたい。
- (5) 教員としての気概、心構えを引き継ぐための取組について伺いたい。

3 学力向上プログラムについて

- (1) 「横浜市子ども学力向上プログラム」策定にあたっての現状認識について伺いたい。

- (2) 「横浜市子ども学力向上プログラム」策定のねらいと具体的な施策について伺いたい。
- (3) 「教科担任制」のねらいと進め方について伺いたい。
- (4) 「はまっ子学習ドリル はまっ子学習検定システム」の具体的な内容について伺いたい。
- (5) 「横浜版学習指導要領」と「横浜市子ども学力向上プログラム」の関連について伺いたい。
- (6) 「横浜市子ども学力向上プログラム」を実施するにあたり、教員、学校の負担を軽減する配慮について伺いたい。
- (要望) 現場の状況を把握して、先生方と協議しながら「横浜市子ども学力向上プログラム」を推進してほしい。

4 学校評価について

- (1) 平成22年度の学校評価研究事業の内容について伺いたい。
- (2) 今回改訂された「学校評価ガイド」に基づく学校評価の効果について伺いたい。
- (3) 市立学校における来年度の学校評価の取組について伺いたい。
- (4) 学校関係者意見の学校評価への反映方法と学校関係者が参画する効果について伺いたい。
- (要望) 教育委員会として、学校評価でことさらに学校を管理することのみに縛られることのないようにご留意いただきたい。

5 学校運営協議会について

- (1) 学校運営協議会の設置状況と来年度の目標について伺いたい。
- (2) 学校運営協議会の設置推進にあたって留意している点について伺いたい。
- (3) 学校運営協議会設置時の支援状況について伺いたい。
- (4) 既設置校の活動実績を情報共有するための取組について伺いたい。
- (要望) 学校運営協議会の運営費は不十分と考える。更なる資金面での支援をお願いする。

6 子どものケータイ利用に伴う問題について

- (1) 子どものケータイ利用の実態と実際に起きたトラブルの事例について伺いたい。
- (2) 子どものケータイ利用に対する横浜市としてのこれまでの対策と今後の方針について伺いたい。
- (3) フィルタリングの普及について、これまでの取組と成果について伺いたい。
- (4) 平成22年度の取組内容について伺いたい。
- (要望) 行政と携帯業者がタイアップして、子供用の携帯には事前にフィルタリング機能を付けておくなど一歩進めた対策を講じていただきたい。

7 公立高等学校授業料無償化について

- (1) 現時点での横浜市における検討状況について伺いたい。
- (2) 対象となる学校数、生徒数や実施時期、予算への影響などどのような制度となる予定なのか。
- (3) 4月1日から実施されるこの制度についての周知方法について、どのように行うのか。
- (4) 授業料無償化により市立学校の魅力が増えたことを踏まえて、教育委員会としてこの制度に対する認識について伺いたい。
- (要望) 4月からのスムーズな実施に向けて積極的に取り組んでほしい。

8 今後の教育における課題

- (1) 横浜の教育に対する課題認識と課題に対する取組姿勢について考えを伺いたい。
- (要望) 山田副市長には、未来を担う横浜の子どもたちの育成や教育課題への対応に副市長ならではの力を発揮していただくことを願います。